

事業番号	15 08 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育施設事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課			
		実施期間	S24 ~	E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標								
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備							

1 現状と課題

・生涯学習推進センターの目的である「日本一を誇る公民館等のレベルアップ、本県の強みである地域のつながりの維持強化」「地域を担う次世代の育成と、シニア層の参加促進による地域教育力の強化」をさらに進める必要がある。

・県立長野図書館は、市町村図書館等へのサポートやレファレンス及び各種情報資源の収集・保存・活用において、ICT活用やデジタル化を図り、県民の知の拠点としての役割を果たしていく必要がある。

・コロナ禍で子どもたちの体験的な学習の機会が減っており、遠出が難しくなっている中で、県内の子どもたちの体験的な活動の場所を維持するため、少年自然の家における安全・安心な施設の運営を維持する必要がある。

2 事業目的

・県民が生涯にわたって学び続け、地域の課題解決を主体的に担うことができる力を身に付けられるようにする。

・子どもたちが豊かな自然や地域の文化を効果的に体験できる環境を整備する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①生涯学習推進センターの講座を充実
オンラインと対面を有効に組み合わせ、コロナ禍で顕在化した課題を取り上げ、内容の充実を図る。

②県立長野図書館のサービス・情報資源のデジタル化推進
市町村との協働による電子図書館構築事業をはじめとする情報資源のデジタル化推進を図るとともに、「信州・学び創造ラボ」の運営及びフォーラムの開催、またリテラシープログラム開発等を進め、県民の知の拠点としての役割を果たす。

③少年自然の家の体験活動の充実
子どもたちの体験的な学習の機会を増やすため、指定管理者と連携して、教育効果・専門性の高い体験プログラムの開発・普及や自主事業の充実を図る。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	生涯学習推進センター 指導者養成研修受講者数	人	1,816	3,487	↗	2,489	↘	2,500	未達成	県民の学びとして、講座の利用状況を把握するために研修受講者数を指標に設定し、令和2年度と令和3年度の平均目標値を上回る数値を目標とした。	
②	県立長野図書館 県内公共図書館調査相談件数	件	63,189	63,686	↗	59,098	↘	82,000	未達成	「地域の情報拠点」としての図書館活動状況を把握するため県内公共図書館調査相談件数を指標に設定。プラン2.0策定前過去10年の同指標平均から10%増となる数値を目標値に設定。	
③	少年自然の家における 自主事業実施回数	回	34	30	↘	39	↗	55	未達成	体験プログラムの開発・普及を把握するため自主事業実施回数を指標に設定し、現状を上回る数値としてコロナ禍前（R1：53回）の実施回数を超える数を目標とした。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	406,710	11,936	418,646	380,408	302,929	25.0
R3年度	87,778	381,242	△ 792	468,228	414,690	447,750	25.0
R2年度	0	506,181	3,919	510,100	430,971	409,509	25.0

事業番号	15 08 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育施設事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課

6 主な取組実績と成果

①生涯学習推進センターの講座を充実

・参集による対面とオンラインのハイブリッド研修とし、計画段階からオンラインのみになることも考慮しながら、地域づくり推進研修23講座、学校と地域の連携推進研修2講座、地域の教育力向上研修5講座、その他研修を8講座実施し、延べ2489人が参加した。
・講座終了後、YouTube を使って講座の後日配信（オンデマンド）を実施した。

②電子図書館導入など情報資源やサービスのデジタル化を推進

・県内77市町村と長野県による協働電子図書館「デジとしよ信州」及び県立長野図書館への専門書・学術書の電子書籍閲覧サービスを令和4年8月5日にスタートし、長野県民はだれでもいつでもどこからでも自由に情報（本）へアクセスできる環境を構築した。デジとしよ信州は、県内全自治体と県が協働で構築・運営する全国初の事例。すべての市町村に利用登録者があり、年度末には10,780名となっている。



←「デジとしよ信州」概要ページ

・地域情報資源のポータルサイト「信州ナレッジスクエア」内のアーカイブ機能「信州デジタルコモンズ」が、「デジタルアーカイブジャパン・アワード2022」（内閣府知的財産戦略推進事務局）を受賞



←信州ナレッジスクエア

③少年自然の家の体験活動の充実

・自主事業を計39回（望月少年自然の家28回、阿南少年自然の家11回）実施し、延べ1,639人が参加。令和3年度は新型コロナウイルスにより多くの自主事業が中止となったが、令和4年度は制限が緩和され、前年度と比較し、実施回数が9回、参加者数が434人・36%増加した。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	生涯学習推進センター指導者養成研修受講者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
研修内容を踏まえ開催方法（オンライン・参集・ハイブリッド）を工夫して取り組んだが、新型コロナウイルスにより中止の講座もあり目標値には届かなかった。							
指標②	県立長野図書館 県内公共図書館調査相談件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
市町村立図書館に向けたレファレンス研修を年4回実施するなど、各館の体制充実に向けた取組を進めたが、コロナ禍の影響による休館やサービス制限の影響が長引き、目標値には届かなかった。							
指標③	少年自然の家における自主事業実施回数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
新型コロナウイルスの制限緩和により、前年度を上回る39回となったが、中止を余儀なくされる状況（感染拡大）もあり目標値には届かなかった。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・生涯学習推進センターにおける事業については、県内の現状把握や生涯学習推進のニーズの把握に努め、それに基づいて的確な支援ができるように研修講座を企画し、情報誌等による情報提供を行っていく必要がある。
・県立長野図書館については、サービスや情報資源のデジタル化を通じてどこからでもアクセスできる学びの基盤充実を図った。引き続き市町村図書館等との連携も進めながら、「県民の知の拠点」としての役割を果たしていく必要がある。
・少年自然の家における自主事業については、感染症流行下等においても参加者が安心して参加できるよう配慮した体験プログラムの開発・普及に取り組む必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

・生涯学習推進センターでは、オンラインなどを活用しながら、地域づくりを推進する指導者の養成に一層力を入れ、特に日本一といわれる公民館活動を中心に市町村の生涯学習や社会教育の推進を支援し、生涯学習の振興と生涯学習による地域づくりを図る。
・県立長野図書館では、引き続き情報資源の整備・活用、空間整備とそれに伴う活動の推進、県民の学びを支える人材育成支援についてデジタル化・ネットワーク化を図りながら推進していくとともに、市町村立図書館や関連機関等との連携を図りながら県民の「知る・学ぶ」に応える基盤の充実を図る。
・少年自然の家では、自然体験活動・野外教育、環境教育等の関係課と連携し利用促進を図るとともに、有識者等から意見聴取し教育効果の高いプログラムの開発・普及、自主事業の充実を図る。

事業番号	15 08 02	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	社会教育施設事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	生涯学習推進センター事業費		10,609 千円	11,016 千円	11,412 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	指導者養成等の研修事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔の市町村を考慮した移動講座の実施 ・住民相互の支援を基盤とする県政課題に対応する講座の実施 地域づくり推進研修23講座、学校と地域の連携推進研修2講座、地域の教育力向上研修5講座 ほか		
2	施設管理運営事業	直接	生涯学習推進センターの管理・運営 研修講座、調査研究、情報発信		
3	社会教育主事講習（地方会場）実施事業	直接	国立教育政策研究所社会教育実践センターが実施する社会教育主事講習（文部科学省委嘱資格付与講習）の地方会場として、講座開催 地方会場 1 回実施		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	県立長野図書館事業費		164,047 千円	245,811 千円	199,649 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	図書館事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・「デジとしよ信州」、「県立長野図書館電子書籍サービス」の稼働 ・開かれた学びの場としての「信州・学び創造ラボ」の運営 ・資料の収集・保存・活用、レファレンス 受入資料数12,848冊、レファレンス件数5,394件		
2	コンピューター管理事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・「信州・知のポータル」信州ナレッジスクエア」の運用・充実 ・業務用コンピューター、利用者用端末等の管理運用 「信州ナレッジスクエア」トップページアクセス件数69,486件		
3	管理運営事業	直接	県立長野図書館の管理・運営全般 開館日283日、入館者数287,332人		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	青年の家・少年自然の家管理運営費		234,853 千円	190,923 千円	91,868 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	少年自然の家運営事業（指定管理委託料）	指定管理	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が青少年教育施設としての機能を維持・管理。 ・自然体験プログラム等の自主事業の開催。 自主事業（望月28回、阿南11回）		
2	青年の家（松川）施設移管に伴う補助金の交付	補助金	旧松川青年の家の施設改修工事について松川町に補助金を交付。 交付決定額138,784,655円		